

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月29日

上場会社名 株式会社 牧野フライス製作所
 コード番号 6135 URL <http://www.makino.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 牧野 二郎
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 細島 英一
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月10日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東

TEL 046-284-1844

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	33,160	△59.1	△10,427	—	△10,687	—	△10,895	—
21年3月期第3四半期	81,170	—	1,660	—	634	—	△2,377	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△95.04	—
21年3月期第3四半期	△20.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	148,158	77,924	52.2	674.82
21年3月期	159,145	88,704	55.0	762.90

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 77,354百万円 21年3月期 87,455百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	7.50	—	—	7.50
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,000	△53.2	△14,000	—	△14,500	—	△14,500	—	△126.49

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 119,944,543株 21年3月期 119,944,543株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 5,314,611株 21年3月期 5,309,334株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 114,632,464株 21年3月期第3四半期 116,599,533株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照下さい。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期の世界経済は、緩やかながら着実に回復に向かいました。(社)日本工作機械工業会の2009年12月単月受注額は、対前年同月比63.4%増の602億28百万円となりました。しかし、4-12月受注累計額は対前年同期比61.3%減の3,514億16百万円となり低調に推移しました。当社単体の受注も同様に、対前年同期比67.2%減の159億87百万円となっています。

地域別の状況としては以下のとおりです。

日本市場では、多くの産業で生産に回復は見られるものの設備投資は低水準が続いています。その中であって、テレビや携帯電話に使用されるLED照明に見られるような新たな需要の拡大があります。先般発売開始した微細精密加工機「iQ300」は、この難易度の高い金型製作を可能にするものとして注目を集めています。また、自動車向けの大型金型も回復の兆しが見え始めています。この分野では、省段取りと高速加工でリードタイムを短縮する6軸仕様マシニングセンタ「MCC2013VG」に期待しています。

アメリカ市場は、回復のペースは遅いものの受注は増加傾向にあります。航空機市場では、難削材加工における市場要求に対し、新機種の開発や加工コストの低減を課題とした研究を一層強化します。そのため、北米に難削材加工の開発拠点を設置し、加工技術の開発に注力していきます。当社の技術的アドバンテージを維持するためです。一方自動車関連産業は、大陸全域に広がりつつあります。当社は、2010年1月にメキシコにテクニカルセンタを完成させました。そしてブラジルやアルゼンチンでは新規代理店と販売契約するなど、この動きを好機ととらえ積極的に展開しております。

欧州市場では、全体としては低調な状況が続いていますが、一部の精密金型・航空機部品・エネルギー関連で動きがありました。2010年は、成長が期待されるロシア市場での販路拡充が課題であります。

アジア市場は、いち早く回復しております。中国は、国内向け需要に続いて、エレクトロニクス関連の輸出企業からの需要も戻りつつあります。インドは、輸出関連企業の回復が先行していましたが、自動車を中心とする内需向けも動きが活発になっています。この2カ国では、広い地域にわたって体制を整備してきました。今後は販売/サービスをさらに充実させ、激化する競争に臨みます。他の地域では、タイ、ベトナムそしてインドネシアで販売網の強化を進めます。

当社グループは、国際的な開発体制を構築します。世界のニーズの多様化に対応すべく、シンガポールに放電加工機の開発を中心としたR&Dセンタを設立します。国内は、基盤技術及び先端技術の開発を強化してまいります。

以上の結果、当第3四半期累計期間における連結売上高は331億60百万円(対前年同期比59.1%減)、連結営業損失104億27百万円(前年同四半期は16億60百万円の連結営業利益)、連結経常損失106億87百万円(前年同四半期は6億34百万円の連結経常利益)、連結四半期純損失108億95百万円(前年同四半期は23億77百万円の連結四半期純損失)となりました。

各地域別の業績については、5.【四半期連結財務諸表】(5)セグメント情報の項目をご参照下さい。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産・負債および純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ109億86百万円減少し、1,481億58百万円となりました。この主な要因は、売上債権の減少および棚卸資産の減少などです。

負債は、前連結会計年度末に比べ2億6百万円減少し、702億33百万円となりました。これは主に、仕入債務の減少、短期借入金の増加によるものであります。

純資産は、利益剰余金の減少109億4百万円などにより、前連結会計年度末に比べ107億80百万円減少し、779億24百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、25億90百万円の収入となりました。この主な増加要因として、売上債権の減少86億86百万円、棚卸資産の減少26億36百万円が挙げられます。一方、主な減少要因として、税金等調整前四半期純損失106億57百万円および仕入債務の減少41億62百万円が挙げられます。

投資活動によるキャッシュ・フローは、28億7百万円の支出となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得などでありあります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、13億68百万円の収入となりました。これは主に短期借入金の増加によるものであります。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ12億27百万円増加し、412億5百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年10月30日に公表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

法人税等の計上基準など一部簡便的な方法を採用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	41,760	39,235
受取手形及び売掛金	15,330	24,529
有価証券	2,018	2,160
商品及び製品	9,937	11,100
仕掛品	8,786	9,136
原材料及び貯蔵品	12,728	14,128
繰延税金資産	572	828
その他	2,500	3,414
貸倒引当金	△825	△1,079
流動資産合計	92,808	103,454
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,514	22,462
機械装置及び運搬具(純額)	3,129	3,572
工具、器具及び備品(純額)	1,966	2,558
土地	9,897	9,628
リース資産(純額)	2,086	1,563
建設仮勘定	546	228
有形固定資産合計	39,140	40,014
無形固定資産		
のれん	—	78
その他	838	859
無形固定資産合計	838	937
投資その他の資産		
投資有価証券	8,939	7,261
長期貸付金	686	493
繰延税金資産	999	1,231
その他	5,306	6,018
貸倒引当金	△561	△266
投資その他の資産合計	15,370	14,738
固定資産合計	55,349	55,691
資産合計	148,158	159,145

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,753	11,063
短期借入金	6,402	4,752
1年内償還予定の社債	10,000	—
1年内返済予定の長期借入金	4,532	611
リース債務	757	247
未払法人税等	523	603
その他	7,683	6,865
流動負債合計	36,652	24,143
固定負債		
社債	10,000	20,000
長期借入金	15,467	19,314
リース債務	2,318	1,905
繰延税金負債	3,319	2,699
退職給付引当金	629	642
役員退職慰労引当金	275	1,309
負ののれん	67	—
その他	1,502	424
固定負債合計	33,581	46,297
負債合計	70,233	70,440
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,263	19,263
資本剰余金	32,595	32,595
利益剰余金	31,550	42,455
自己株式	△2,766	△2,764
株主資本合計	80,643	91,550
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,657	1,692
為替換算調整勘定	△5,946	△5,786
評価・換算差額等合計	△3,289	△4,094
少数株主持分	570	1,249
純資産合計	77,924	88,704
負債純資産合計	148,158	159,145

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第 3 四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年12月31日)
売上高	81,170	33,160
売上原価	58,429	30,786
売上総利益	22,740	2,373
販売費及び一般管理費	21,080	12,801
営業利益又は営業損失 (△)	1,660	△10,427
営業外収益		
受取利息及び配当金	336	174
その他	466	689
営業外収益合計	803	864
営業外費用		
支払利息	417	657
為替差損	789	376
その他	622	89
営業外費用合計	1,829	1,123
経常利益又は経常損失 (△)	634	△10,687
特別利益		
固定資産売却益	13	29
投資有価証券売却益	122	—
貸倒引当金戻入額	32	—
特別利益合計	168	29
特別損失		
固定資産除却損	47	—
投資有価証券評価損	34	—
特別損失合計	81	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	721	△10,657
法人税等	3,119	274
少数株主損失 (△)	△20	△36
四半期純損失 (△)	△2,377	△10,895

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	721	△10,657
減価償却費	2,709	2,501
のれん償却額	29	29
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△67	159
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△215	△1,034
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△84	87
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△70	—
受取利息及び受取配当金	△336	△174
支払利息	417	657
為替差損益(△は益)	110	70
有形固定資産売却損益(△は益)	△13	△29
有形固定資産除却損	47	—
売上債権の増減額(△は増加)	14,345	8,686
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,704	2,636
仕入債務の増減額(△は減少)	△7,517	△4,162
その他	△661	3,922
小計	5,709	2,692
利息及び配当金の受取額	338	160
利息の支払額	△354	△572
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,882	310
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,810	2,590
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△400	△1,301
有価証券の取得による支出	△150	△50
有価証券の売却による収入	50	200
有形固定資産の取得による支出	△6,247	△1,353
有形固定資産の売却による収入	76	437
子会社株式の取得による支出	—	△316
その他	73	△423
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,597	△2,807

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△267	1,852
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△20	△242
長期借入れによる収入	5,500	536
長期借入金の返済による支出	△1,997	△458
社債の発行による収入	10,000	—
自己株式の取得による支出	△531	△1
子会社の自己株式の取得による支出	—	△316
配当金の支払額	△1,753	—
少数株主への配当金の支払額	△3	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	10,926	1,368
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,004	76
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	7,136	1,227
現金及び現金同等物の期首残高	25,621	39,978
現金及び現金同等物の四半期末残高	32,757	41,205

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

当社及び連結子会社の事業は、工作機械の製造・販売業の単一セグメントでありますので、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

2. 所在地別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	アメリカ (百万円)	ヨーロッパ (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
1. 外部顧客に対する 売上高	33,189	15,572	21,756	10,652	81,170	—	81,170
2. セグメント間の内部 売上高又は振替高	50,517	3,756	341	53	54,669	(54,669)	—
計	83,706	19,328	22,097	10,706	135,839	(54,669)	81,170
営業費用	84,199	19,167	20,722	10,275	134,364	(54,854)	79,510
営業利益又は損失(△)	△492	161	1,375	431	1,475	184	1,660

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

- 2 各区分に属する主な国又は地域
 アジア・・・シンガポール
 アメリカ・・・アメリカ
 ヨーロッパ・・・ドイツ

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	アメリカ (百万円)	ヨーロッパ (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
1. 外部顧客に対する 売上高	12,998	8,576	8,920	2,664	33,160	—	33,160
2. セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,876	678	129	11	8,695	(8,695)	—
計	20,875	9,254	9,049	2,676	41,855	(8,695)	33,160
営業費用	29,652	10,009	9,579	3,686	52,928	(9,340)	43,588
営業損失(△)	△8,776	△755	△529	△1,010	△11,072	644	△10,427

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

- 2 各区分に属する主な国又は地域
 アジア・・・シンガポール
 アメリカ・・・アメリカ
 ヨーロッパ・・・ドイツ

3. 海外売上高

前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	21,878	11,920	20,370	2,144	56,313
II 連結売上高(百万円)					81,170
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	27.0	14.7	25.1	2.6	69.4

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
 2 各区分に属する主な国又は地域
 アメリカ・・・アメリカ・カナダ
 ヨーロッパ・・・イタリア・ドイツ・イギリス
 アジア・・・中国・インド・韓国・タイ
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	9,081	3,020	10,737	793	23,632
II 連結売上高(百万円)					33,160
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	27.4	9.1	32.4	2.4	71.3

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
 2 各区分に属する主な国又は地域
 アメリカ・・・アメリカ・カナダ
 ヨーロッパ・・・ドイツ・イタリア
 アジア・・・中国・インド・韓国
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」受注及び販売の状況

当社グループは工作機械の製造・販売業の単一セグメントでありますので、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。以下は機種別の状況を記載しております。

1. 受注の状況

受注高

(百万円未満切捨て)

区分	前第3四半期連結累計期間 自 平成20年 4月 1日 至 平成20年12月 31日		当第3四半期連結累計期間 自 平成21年 4月 1日 至 平成21年12月 31日	
	金額	比率 (%)	金額	比率 (%)
マシニングセンタ	51,030	66.7	18,116	52.0
放電加工機	6,482	8.5	2,967	8.5
フライス盤	666	0.9	550	1.6
その他	18,290	23.9	13,221	37.9
合計	76,470	100.0	34,855	100.0

(注) 上記の金額には消費税は含まれておりません。

受注残高

(百万円未満切捨て)

区分	前第3四半期連結会計期間末 平成20年 12月 31日		当第3四半期連結会計期間末 平成21年 12月 31日	
	金額	比率 (%)	金額	比率 (%)
マシニングセンタ	33,504	86.0	22,922	80.0
放電加工機	2,961	7.6	2,194	7.7
フライス盤	192	0.5	293	1.0
その他	2,298	5.9	3,223	11.3
合計	38,957	100.0	28,634	100.0

(注) 上記の金額には消費税は含まれておりません。

2. 販売の状況

販売実績

(百万円未満切捨て)

区分	前第3四半期連結累計期間 自 平成20年 4月 1日 至 平成20年12月 31日		当第3四半期連結累計期間 自 平成21年 4月 1日 至 平成21年12月 31日	
	金額	比率 (%)	金額	比率 (%)
マシニングセンタ	56,114	69.1	18,312	55.2
放電加工機	6,442	7.9	2,515	7.6
フライス盤	642	0.8	367	1.1
その他	17,970	22.1	11,964	36.1
合計	81,170	100.0	33,160	100.0

(注) 上記の金額には消費税は含まれておりません。